

課題

【ICT活用】問題解決に向けて思考することや、 自分の考えを適切に表現することが苦手

手立て

「思考し、表現する力」を高める活動の中で効果的にICTを活用する

具体例

POINT① 個に応じた学習の充実（自身の考えをしっかり形成する）

○自分の考えをノートに書く時間を確保するとともに、適切な支援をする

- ・問題解決の方法を見通す時間を確保し、共有する。
 - ・クラウドを用いて、既習事項や考え方のヒントを必要な時にタブレットで見られるようにする。
- ※まずは自分の考えをしっかり形成する。

- ・問題解決に必要な見方・考え方を一覧にして掲示
- ・問題解決の見通しをプロジェクターやタブレットで共有
- ・やることは言葉の指示だけでなく可視化（UDの視点）

POINT② 「思考し、表現する力」を高める対話活動

○書いたものを共有し、自身の考えを広げ深める

- ・ペアやグループでノートを見せながら自分の考えを伝え合う機会を設ける。
 - ・カメラ機能を用いてノートを撮影し、共有する。
- ※様々な考えに触れることで、自身の思考力、表現力を高める。

- ・ノートを用いた発表（見せるノートを意識）
- ・話し方、聞き方の視点を明示
- ・ICTを用いて考えを共有することで、効果的、効率的な比較検討を実施

POINT③ 自分の言葉でまとめを書く

○自分の言葉で、学習問題に対するまとめや問題解決に有効だった見方・考え方を記述する

- ・ペアやグループでの対話活動、全体での比較検討の場面で、様々な考えに触れる。
 - ・教師は比較検討の中で出てきた意見から、ねらいに迫るものを吹き出し等で強調する。
- ※身に付けた知識及び技能、考え方等を定着させる。

- ・自分の言葉でまとめを書く時間をしっかり確保
- ・まとめを書けるような授業展開とノート指導
- ・カメラ機能とクラウドを用いて、書いた内容を共有